

大阪大谷大学

平成三十一年度 入学試験問題（一般入試 前期）

国 語

注意事項

- 一 問題用紙は全部で十二ページです。解答用紙は一枚です。
- 二 解答用紙の所定欄に受験番号と氏名を記入してください。
- 三 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 四 問題用紙は持ち帰ってください。

□ 次の文章は、赤祖父俊一『知的創造の技術』の一節である。文章を読んで、後の間に答えよ（設問の都合上、原文の一部を改変している。また、設問に字数制限がある場合、句読点・符号等はすべて字数に含む）。

今、晩年のピカソと他の画家に同じ女性の絵を描いてもらうとすると、ⁱ当然、全く異なった絵ができあがるだろう。ピカソの絵は、本人には失礼であるが、一見それが女性であることさえはつきりしないかもしれない。一方、もう1人の画家の絵はその女性の写真に近いものかもしれない。そこで科学者は、「芸術家は主観的であって、科学とは全く異なるものだ。科学者にとっては正確さが最も重要であり、客観的であるべきであり、真理は1つであり、そのため科学と芸術は異なる」とする。

しかしそうだろうか。画家が動物を描く場合、少なくとも対象が犬であるか猫であるかを十分知って描くものだが、先端科学では、まず対象が犬であるか猫であるかもわかっていない。そのため科学では、いかに対象を識別するかによって使う考察と数式が異なってくる。

先端科学では、^①まず対象を判定しなくてはならない。対象物を犬とする科学者もいれば、猫とする科学者もある。詳しくは後述するが、地球温暖化の原因が人間活動による炭酸ガスの放出によるのか、例えば太陽の影響などの自然変動によるのかは、対象が犬であるか猫であるかを判定してかかることに相当し、その判定は極めて主観的な作業である。観測事実は多くあるが、その中からどれを選ぶかは科学者によるからだ。すなわち、科学では、犬にも猫にも頭、目、耳、足があることはわかっているが、他の観測事実は十分わかかっていない場合に相当する。したがって犬と猫のどちらを選ぶかは、^②観測事実の「統合」という主観的作業になるのである。

実際、生命の起源はもちろん、身近な雲や雨の生成についても多くの説がある。多くの説があるということは、多くある観測事実の選び方、統合の仕方が異なるからである。すなわち、横山大観が述べたように「心」で決めるのであって、これは芸術と同じなのである。

□ I この段階では科学者は芸術家より主観的であり、決して客観的とはいえない。

したがって、芸術家より科学者のほうがはるかに主観的である。実は、寺田がいうように、この主観的であることが科学創造の根本であるのだ。限られた観測事実を組み合わせて犬と判断し、最初にその理論を組み立てることが創造である。ある科学者が犬と違って作った理論を、後の科学者が改良するのは、一段次元の低い作業になる。欧米の科学者が、理論と方程式を最初に組み立てた科学者の名前をその法則や方程式に付けるのは、組み立てた科学者の創造性を認め、記念するためである。

Ⅱ、生物学では「メンデルの法則」、電磁気学では「マクスウェルの方程式」と呼ばれる式、量子力学では「シュレーディンガー方程式」と呼ばれる式がある。

Ⅲ、科学は正確な実験や観測を ^aキソとする。この点においては、X でなければならぬ。しかし、そのようなして集められた実験や観測「事実」から犬か猫かを決める統合の作業は、極めて主観的な作業であり、したがって、科学創造は科学の進歩の方向づけに決定的な役割を果たす。対象が犬であるか、猫であるかで、当然 ^③論争が起こる。 ^④論争は科学の進歩にとって最も重要である。しかし、一方が ^bユウエツしてくると問題が起きる。

その例として地球温暖化問題を挙げてみよう。この20年ほど、地球の温暖化は世界中の一般市民、そして子供にまで大きな関心の的となってきた。一時期、新聞もテレビも、毎日のように地球の温度が上がりすぎて住みづらくなると ^cハウドウした。それは一部の科学者等がコンピュータ・シミュレーションの研究によつて、現在のように炭酸ガスを放出し続けると2100年頃には地球は熱くなり、氷河も融けて海水面が上昇し、南太平洋の島などは水没してしまうと予測したことによる。

しかし一方、地球の気候変化（温暖化、^dカンレイ化）は常に起きており、現在の温暖化はそのような自然変動によるという科学者もいるのだ。

各々の主張について、その根拠とする客観的な事実は非常に多い。客観的に集められた観測を基にして一部の科学者が、その原因は大部分が人類活動により放出される炭酸ガスの温室効果とするのに対し、他の一部の科学者は大部分が自然変動によるとしているわけである。

これはまさに、対象を犬とするか猫にするかということに相当する。両者とも、支持する事実を選んで結論づけているのだ。地球の温度が10℃ほど低くなった大氷河期は、過去少なくとも4回あった。その原因として挙げられる「事実」も数多く、全部を説明することは不可能である。その中には少なくとも一見相反するような客観的事実さえあるからである。そこで、そのいくつかの事実を統合して犬とする仮説を立て、**IV** その仮説を支持するような事実を集める科学者もいれば、別の仮説を立てて猫とし、それを支持するような事実を統合する科学者もいる。事実全部を説明することができない以上、これは科学者にとって当たり前のことである。そこで犬であるか猫であるかという論争が起きる。これは当然である。

氷河期の原因には70もの理論が発表されていると聞く。科学の本質はこの論争であり、論争によつて研究が磨かれていく。説明できないことは、^eカクすことなく「できない」といえばよい。炭酸ガスによる地球温暖化論を主張する科学者はそれ以外の論を「異端論」と呼んだが、^⑤科学の世界ではこんなことがあつてはならない。それでは炭酸ガス論が宗教のようになり、科学ではなくなってしまうことにほかならない。

(注) ピカソ：スペインに生まれ、フランスで活躍した画家（一八八一～一九七三年）。

横山大観：日本画家（一八六八～一九五八年）。

寺田：寺田寅彦。物理学者・随筆家（一八七八～一九三五年）。

問一 二重傍線部 a s e のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部 i 「当然」の意味に最も近い語句を、本文中から抜き出し、四字で答えよ。

問三 空欄 に入る最も適当な語句を、次のア s オの中から一つ選び、それぞれ記号で答えよ（但し、同じ記号は二度以上使えない）。

ア さらに イ むしろ ウ 例えば エ もちろん オ しかし

問四 空欄 に入る語句を、本文中から抜き出し、三字で答えよ。

問五 傍線部①「まず対象を判定しなくてはならない」とあるが、その理由として最も適当な部分を、本文中から三十字以内で抜き出し、解答欄の「から」に続くように答えよ。

問六 傍線部②「観測事実の『統合』」とあるが、これはどういうことか。犬と猫を例に使って説明した部分を、本文中から二十
五字以内で抜き出し、解答欄の「ということ」に続くように答えよ。

問七 傍線部③「論争が起こる」とあるが、地球温暖化の問題の場合はどのような論争となるか。本文中の語句を用いて具体的に
説明せよ。

問八 傍線部④「論争は科学の進歩にとって最も重要である」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、
次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア ささまざまな仮説を立てて論じ合うことが、科学の進歩につながるということ。
- イ 論争の中で科学者の創造性を養うことが、科学の発展には必要だということ。
- ウ 論争で世の人々の関心を集めることが、科学の進展の契機になるということ。
- エ 各々の主張を統合して事実を説明することが、科学を進化させるということ。

問九 傍線部⑤「科学の世界ではこんなことがあつてはならない」のはなぜか。その説明として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア ある主張だけが正しいと決めつけると、それ以外の主張の正当性を示す事実が世間に公表されなくなるから。
- イ 多数派の主張であるかどうかで、支持するかどうかを決めるのは科学の世界では受け入れられないから。
- ウ 自分の支持する主張の正当性を高めるため、その主張にとって都合の悪い事実をねじ曲げるようになるから。
- エ 一つの主張だけが正しいと決めつけて論争を避けてしまうと、研究の進歩の可能性が失われてしまうから。

□ 次の文章は『蜻蛉日記』の一節である。訪れの遠のく夫を待ち続ける日々の中、筆者は知人と連れ立ち清水寺へと参詣に出かける。その留守中に隣家からの出火という事件が起こる。これは、筆者にとっては二回目となる近隣出火であった。文章を読んで、後の問に答えよ(設問の都合上、原文の一部を改変している。また、設問に字数制限がある場合、句読点・符号等はすべて字数に含む)。

十八日に清水へ詣づる人に、また忍びてまじりたり。初夜果ててまかづれば、時は子ばかりなり。もろともなる人のところに帰りて、ものなどもするほどに、あるものども、「この乾のかたに火なむ見ゆるを、出でて見よ」など言ふなれば、「唐土ぞ」など言ふなり。うちには、なほ苦しきわたりなど思ふほどに、人々、「かうの殿なりけり」と言ふに、いとあさまじういみじ。わが家も、ついひぢばかり隔てたれば、「騒がしう、若き人をも惑はしやしつらむ。いかで渡らむ」と、惑ふにしも、車の簾は掛けられけるものかは。からうして乗りて来しほどに、みな果てにけり。わががたは残り、あなたの人もこなたに集ひたり。ここには大夫ありければ、いかに土にや走らすらむと思ひつる人も、車に乗せ、門強うなどものしたりければ、らうがはしきこともなかりけり。あはれ、をのことてよう行ひたりけるよと、見聞くもかなし。渡りたる人々は、ただ「命のみわづかなり」と嘆くまに、火しめりはてて、しばしあれど、とふべき人はおとづれもせず、「さなむ」と語るべき人は、さすがに雑色や侍やと聞きおよびけるかぎりは、語りつと聞きつるを、あさましあさましと思ふほどにぞ、門たたたく。人見て、「おはします」と言ふにぞ、すこし心おちみておぼゆる。さて「ここにありつるをのこども来て告げつるになむ驚きつる。あさまじう来ざりけるがいとほしきこと」などあるほどに、とばかりになりぬれば、鶏も鳴きぬと聞く寝にければ、ことしもこちよげならむやうに、あさいになりにけり。いまでも、とふ人あまたののしればとて、起きて答へたり。「騒がしうぞなりまさらむ」とて急がれぬ。しばしありて、男の着るべき物どもなど、数あまたあり。「取りあへたるに従ひてなむ。かみにまづ」とぞありける。「かく集まりたる人にもせよ」とて急ぎける。いとにはかに、檜皮の濃き色にてしたり。いとあやしければ見ざりき。

(注)清水：京都市東山区の清水寺。

かうの殿・かみ：いずれかの役所の長官を務める者。また、筆者の隣家の主。

大夫：筆者の子息。

土にや走らすらむと思ひつる人：裸足で逃げ惑っているのではないかと心配していた娘。
檜皮の濃き色：濃い茶色の衣服。主に雑役に従事する者が着用した。

問一 二重傍線部 a・b のひらがなを漢字に直せ。

問二 傍線部①～⑤の意味として、最も適当なものを、それぞれア～ウの中から一つ選び、記号で答えよ。

① 「子ばかり」

- ア 午後10時頃
- イ 午前0時頃
- ウ 午前10時頃

② 「ものなどものする」

- ア 食事などをする
- イ 所持品を整理する
- ウ 参詣の御礼をする

③ 「乾のかた」

- ア 北東の方角
- イ 南西の方角
- ウ 北西の方角

④ 「らうがはしきこと」

- ア 不審者や盗賊の侵入
- イ 手間のかかる後始末
- ウ 面倒な近隣付き合い

- ⑤ 「あやしければ」
- ア 不安が募るので
 イ 粗末に感じるので
 ウ 不審に思ったので

問三 本文中には、距離の遠さを誇張して表現した語句がある。本文中より三字で抜き出して答えよ。

問四 波線部A「惑はしやしつらむ」について説明した次の文章を読んで、後の問に答えよ。

「つ」は、①の助動詞の②形で、直下に③の助動詞「らむ」を伴って「強意」を表す用法である。「らむ」は、文中の係助詞「や」を受けて④形で結んでいる。

(1) 空欄 ① く ④ に入る最も適当なものを、次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 推量 イ 完了 ウ 過去 エ 未然 オ 終止 カ 連体

(2) 波線部Aを口語訳せよ。

問五 波線部B「見聞くもかなし」とあるが、筆者がそのような感慨を得た理由の説明として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 隣家からの出火が原因で楽しみにしていた清水詣が中断となり、同行していた人からその後の話を聞いたから。
- イ 突発的な事態で心配していたにも関わらず、留守宅を預かる我が子の見事な対処ぶりを頼もしいと思ったから。
- ウ 親しくしていた隣家を突然襲った災難の状況を見聞し、とても他人事とは思えず、深い同情の念を抱いたから。
- エ 自宅は無事であったが、今後予想される事後処理の煩雑さを思い描き、平穏な生活の継続に不安を感じたから。

問六 波線部C「語りつ」とは、どのような事柄について言っているのか。二十字以内で記せ。

問七 波線部D「おはします」の主語となる人物として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア あなたの人
- イ 大夫
- ウ とふべき人
- エ かみ
- オ 集まりたる人

問八 波線部E「すこし心おちみておぼゆる」とあるが、筆者がそのような心境になった理由を、文脈に即して六十字以内で説明せよ。

問九 次の説明文の空欄①・②を補うのに最も適当な語句を漢字で答えよ。

『蜻蛉日記』は、紀貫之による①と並び、平安時代前期を代表する日記文学である。作者である藤原道綱母は、次の世代に登場する女流文学者の先駆けともなり、『源氏物語』の作者②などにも影響を与えた。